



## 2026年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年5月15日

上場会社名 Zenken株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7371 URL https://www.zenken.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 林 順之亮  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 業天 邦明 (TEL) 03-4212-2281  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト・個人投資家向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2026年6月期第3四半期の連結業績(2025年7月1日~2026年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年6月期第3四半期	4,298	1.9	498	54.9	540	60.8	372	26.4
2025年6月期第3四半期	4,217	△0.8	322	5.7	336	△1.5	294	22.5

(注) 包括利益 2026年6月期第3四半期 443百万円( 50.3%) 2025年6月期第3四半期 294百万円( 20.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年6月期第3四半期	30.63	29.56
2025年6月期第3四半期	24.31	23.41

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年6月期第3四半期	15,340	12,656	82.5
2025年6月期	14,492	12,370	85.4

(参考) 自己資本 2026年6月期第3四半期 12,656百万円 2025年6月期 12,370百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年6月期	—	0.00	—	13.00	13.00
2026年6月期	—	0.00	—	—	—
2026年6月期(予想)	—	—	—	26.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2026年6月期の連結業績予想(2025年7月1日~2026年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,800	4.8	500	29.4	490	22.4	350	2.3	28.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2026年6月期3Q	12,339,100株	2025年6月期	12,328,100株
2026年6月期3Q	170,000株	2025年6月期	170,000株
2026年6月期3Q	12,165,673株	2025年6月期3Q	12,132,249株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料は、2026年5月15日 (金) にTDnetで開示するとともに、当社ウェブサイトにも掲載いたします。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 経営成績の概況 .....	2
(2) 財政状態の概況 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書 .....	7
第3四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書 .....	8
第3四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	10
(収益認識関係) .....	10

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、緩やかな回復基調が続いております。先行きについては雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が緩やかな回復を支えることが期待されるものの、中東情勢の影響を注視する必要がありますとともに、金融資本市場の変動の影響や米国の通商政策をめぐる動向など、不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループでは、WEBマーケティング事業を中心とした「マーケティング」セグメント、海外のエンジニア人材・介護人材等を日本企業へ紹介等を行う人材事業と教育事業（語学研修・教育、留学斡旋等）を営む「海外人材」セグメント、保有不動産の賃貸事業を行う「不動産」セグメントの3つのセグメントにおいて事業展開を進めてまいりました。

また、2026年6月期から2030年6月期までの5ヶ年を対象とした中期経営計画『Road to 250』を策定し、企業価値の最大化と持続的成長の実現に向けた具体的な道筋を明示いたしました。

本計画では、海外人材セグメントの更なる成長を中核に据えるとともに、マーケティングセグメントにおいても市場環境の変化を的確に捉え、当社独自のノウハウを活かした新たな価値提供の強化を図ってまいります。加えて、株主還元強化、M&A戦略の推進、資本効率の向上といった経営基盤の強化にも注力いたします。そして、2030年6月期の目標として連結売上高130億円、連結営業利益30億円等の達成を掲げるとともに、東証プライム市場への上場を視野に入れた企業体質の進化を目指してまいります。

WEBマーケティング業界については、インターネット広告費の成長率（前年比110.8%）が広告費全体の成長率（前年比105.1%）を上回り広告全体を牽引していることが示されたように（出所：株式会社電通「2025年 日本の広告費」）、成長性の高い業界であると考えられます。但し、例えば単純なSEO対策といった差別化しにくい均質的なサービスによる競争に陥ることなく、差別化されたサービスを提供できることが事業成長のための重要な要件になっており、その差別化されたサービスに関する高度なノウハウの蓄積とそれを実現する制作体制の充実が競争力の源泉となる状況が続いていると認識しております。

そのような環境下で、当社グループにおいては、ニッチな商品・サービスの集客に特化したメディアの制作・運用をWEBマーケティング事業の柱としてきました。これまでに累計8,400件を超える専門メディアを制作し、クライアント企業の商品・サービスの特徴と合致するニーズを持つユーザーをマッチングさせる制作技術とノウハウの蓄積を進めてきました。加えて、生成AIの活用を全社的な取り組みとしながらも、WEB上にはない取材情報に基づいた専門メディアを制作・運用していることが特徴となっております。その結果、この分野においては、他に強い競合がいると意識することなく事業拡大に注力できるほか、海外のユーザーをマッチングさせる海外集客メディアの展開や人的資本マーケティング分野への参入等、事業領域の拡大を進めております。

海外人材については、日本国内における労働力は毎年逼迫してきており、需要は増えていくものと考えられます。例えば、国内のIT人材は2030年には最大で79万人、中位シナリオで約45万人（出所：経済産業省「IT人材需給に関する調査」（2019年3月））も人手が不足すると見込まれるほど人手不足が慢性化しています。また、海外人材採用を促進する政策は、特定技能外国人の2024年から5年間の受け入れ枠が82万人とそれまでの約2.4倍になるなど強化されてきています。そして、需要が増えていく中で、今後、海外人材を紹介する企業は増加していくものと予想されます。海外人材の紹介においては、海外において日本で働く意向を持つ優秀な人材をいかに確保し、日本で就業した後は定着に向けて支援することができるかが、競争力と事業成長の鍵になると思われれます。

そのような環境下で、当社グループは、海外のエンジニア人材輩出地のなかでも教育水準・将来的な人材供給力等の観点からインド南部の都市ベンガルールに着目し、拠点を設けて事業化に取り組んできました。そこでは、現地の大学と提携してジャパンキャリアセンターを設けるなど、日本での就職を希望する卒業予定者等を累計で2万人以上集めております。今後は、日本国内の就業先の開拓に本格的に取り掛かり、定着に向けた支援を行ってまいります。また、介護人材不足に対応するために、主にインド、インドネシアの介護分野における特定技能外国人を現地の政府系機関や人材送出国と提携し、日本国内の介護施設への紹介を進めています。そして、介護福祉士の資格取得を目指した5年間にわたる独自の日本語教育プログラムも提供し、長く日本で活躍することができる人材の育成の支援も行っております。2024年8月からは、インドの政府系機関とのネットワークを活用し、宿泊施設向

けの特定技能外国人の紹介に向けた協働等も開始するなど、紹介可能な分野の拡大を進めております。

以上のような状況の下、当第3四半期連結累計期間の連結売上高は、4,298,430千円と前年同四半期と比べ81,281千円(1.9%)の増収、連結営業利益は、498,767千円と前年同四半期と比べ176,713千円(54.9%)の増益、連結経常利益は540,529千円と前年同四半期と比べ204,402千円(60.8%)の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は372,647千円と前年同四半期と比べ77,729千円(26.4%)の増益となりました。なお、前年同四半期においてはオフィス移転に伴う一時費用が発生していましたが、当第3四半期連結累計期間においては、当該費用は発生していません。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### a. マーケティングセグメント

当セグメントでは、主に「WEBマーケティング事業」として、顧客のWEB検索市場におけるマーケティング戦略に向けて、ニッチな商品・サービスに特化した専門メディアの制作・運用を通じた集客支援を中心に行っております。

当第3四半期連結累計期間においては、主に専門メディアの少ないニッチな市場(例えば、電機・機械等のBtoBの業種)向けを中心に181件(前年同四半期比36件減)のメディアを新規公開するとともに、963件(前年同四半期比21件減)のメディアを運用しています(平均継続期間47.2カ月)。売上高においては、新規顧客獲得を継続的に進めておりましたが、前連結会計年度下期以降において新規受注が減少したこと等により、減収となりました。また、成長分野における立ち上げ費用の増加により減益となりました。その結果、売上高は2,702,156千円と前年同四半期と比べ99,090千円(3.5%)の減収、セグメント利益は648,919千円と前年同四半期と比べ90,598千円(12.3%)の減益となりました。

#### b. 海外人材セグメント

当セグメントは、人材事業と教育事業から成り立っております。人材事業では、エンジニア・介護業界向け等の海外人材の紹介と、美容業界に特化した求人を紹介する「美プロ」などのメディアの運営等を行っております。また、教育事業では、法人向け語学研修、留学斡旋や日本語教育等を行っております。

人材事業における当第3四半期連結累計期間の売上高は、681,665千円と前年同四半期と比べ198,099千円(41.0%)の増収となりました。これは主に、海外のエンジニア人材、介護人材の紹介等が好調に推移し、紹介料収入等が増加したことによるものです。エンジニア人材の紹介については、採用イベントを53回(前年同会計期間比6回増)実施し、内定受領者は132名(前年同会計期間比22名増)となりました。これらの内定受領者に対して、入社前の日本語教育を約1年間にわたり実施してまいります。介護人材については、入職者の増加に加え、入職後の登録支援機関としての登録者や日本語教育プログラムの受講者がいずれも増加となりました。

教育事業における当第3四半期連結累計期間の売上高は、563,117千円と前年同四半期と比べ17,976千円(3.1%)の減収となりました。これは、法人向け語学研修事業等において受注の伸び悩み等があったことによるものです。なお、費用の見直しを進め、利益の改善を進めております。

これらの結果、海外人材セグメントの売上高は1,244,782千円と前年同四半期と比べ180,123千円(16.9%)の増収、セグメント利益は163,655千円と前年同四半期と比べ73,974千円(82.5%)の増益となりました。

#### c. 不動産セグメント

当セグメントにおきましては、「全研プラザ」、「Zenken Plaza II」の賃貸を中心に行っており、高稼働を維持しております。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は350,588千円と前年同四半期と比べ312千円(0.1%)の増収、セグメント利益は258,721千円と前年同四半期と比べ13,730千円(5.6%)の増益となりました。

## (2) 財政状態の概況

## (資産)

流動資産の残高は5,608,985千円（前連結会計年度末比504,921千円の増加）となりました。これは主に、新規取引先との取引開始や新規投資先への出資等により現金及び預金が889,913千円減少したものの、新規取引先との取引開始により売掛金が1,694,440千円増加したこと等によるものです。固定資産の残高は9,731,616千円（前連結会計年度末比343,482千円の増加）となりました。これは主に、新規投資先への出資や既存投資先の時価評価に伴い投資有価証券が470,499千円増加したこと等によるものです。

以上の結果、当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、15,340,601千円（前連結会計年度末比848,404千円の増加）となりました。

## (負債)

流動負債の残高は1,891,853千円（前連結会計年度末比649,949千円の増加）となりました。これは主に、新規取引先との取引開始の影響等により未払金が557,670千円増加したこと等によるものです。固定負債の残高は792,355千円（前連結会計年度末比87,098千円の減少）となりました。これは主に、約定弁済により長期借入金が100,728千円減少したこと等によるものです。

以上の結果、当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、2,684,208千円（前連結会計年度末比562,851千円の増加）となりました。

## (純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、12,656,393千円（前連結会計年度末比285,553千円の増加）となりました。これは主に、剰余金の配当が158,055千円あったものの親会社株主に帰属する四半期純利益372,647千円により利益剰余金が214,592千円増加したことやその他有価証券評価差額金が時価の変動により70,499千円増加したことによるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年6月期の業績予想は、2025年8月14日に公表しました通期業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,307,655	3,417,741
売掛金	233,123	1,927,563
棚卸資産	70,300	55,339
その他	492,983	208,340
流動資産合計	5,104,063	5,608,985
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,800,967	2,800,967
減価償却累計額	△1,615,585	△1,659,091
建物及び構築物(純額)	1,185,382	1,141,876
工具、器具及び備品	92,387	92,160
減価償却累計額	△34,204	△43,726
工具、器具及び備品(純額)	58,183	48,433
土地	6,019,746	6,019,746
リース資産	76,337	76,337
減価償却累計額	△16,595	△21,283
リース資産(純額)	59,742	55,054
その他	21,036	5,131
減価償却累計額	△20,770	△4,892
その他(純額)	265	239
有形固定資産合計	7,323,320	7,265,350
無形固定資産		
借地権	602,194	602,194
その他	9,602	6,915
無形固定資産合計	611,796	609,110
投資その他の資産		
投資有価証券	1,013,334	1,483,833
繰延税金資産	97,173	86,893
敷金	196,603	190,847
その他	185,165	130,517
貸倒引当金	△39,259	△34,934
投資その他の資産合計	1,453,017	1,857,156
固定資産合計	9,388,134	9,731,616
資産合計	14,492,197	15,340,601

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払金	221,219	778,890
1年内返済予定の長期借入金	134,304	134,304
未払費用	64,506	80,258
前受金	605,795	655,826
未払法人税等	85,152	98,644
賞与引当金	65,770	105,803
その他	65,155	38,125
流動負債合計	1,241,903	1,891,853
固定負債		
長期借入金	444,530	343,802
繰延税金負債	303	448
長期預り敷金	292,573	294,605
その他	142,047	153,499
固定負債合計	879,453	792,355
負債合計	2,121,357	2,684,208
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	439,530	439,761
資本剰余金	623,500	623,731
利益剰余金	11,403,789	11,618,381
自己株式	△95,980	△95,980
株主資本合計	12,370,839	12,585,893
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	-	70,499
その他の包括利益累計額合計	-	70,499
純資産合計	12,370,839	12,656,393
負債純資産合計	14,492,197	15,340,601

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2024年7月1日 至2025年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2025年7月1日 至2026年3月31日)
売上高	4,217,149	4,298,430
売上原価	1,872,472	1,686,850
売上総利益	2,344,676	2,611,580
販売費及び一般管理費	2,022,622	2,112,812
営業利益	322,054	498,767
営業外収益		
受取手数料	2,935	3,495
受取利息及び配当金	29,452	29,883
助成金収入	1,331	8,084
貸倒引当金戻入額	-	4,325
その他	484	4,195
営業外収益合計	34,204	49,983
営業外費用		
支払利息	3,063	3,934
為替差損	10,255	4,287
貸倒引当金繰入額	6,812	-
営業外費用合計	20,131	8,221
経常利益	336,126	540,529
特別利益		
資産除去債務戻入益	99,715	-
特別利益合計	99,715	-
特別損失		
固定資産除売却損	1,614	0
特別損失合計	1,614	0
税金等調整前四半期純利益	434,226	540,529
法人税、住民税及び事業税	105,723	157,455
法人税等調整額	33,585	10,426
法人税等合計	139,309	167,882
四半期純利益	294,917	372,647
親会社株主に帰属する四半期純利益	294,917	372,647

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2026年3月31日)
四半期純利益	294,917	372,647
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	-	70,499
その他の包括利益合計	-	70,499
四半期包括利益	294,917	443,146
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	294,917	443,146

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	マーケティング	海外人材	不動産	計		
財又はサービスの種類別						
WEBマーケティング	2,801,247	—	—	2,801,247	—	2,801,247
人材	—	483,565	—	483,565	—	483,565
教育	—	581,093	—	581,093	—	581,093
その他	—	—	—	—	966	966
顧客との契約から生じる収益	2,801,247	1,064,659	—	3,865,906	966	3,866,873
収益認識の時期別						
一時点で移転される財又はサービス	866,934	716,857	—	1,583,792	—	1,583,792
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	1,934,312	347,801	—	2,282,114	966	2,283,080
顧客との契約から生じる収益	2,801,247	1,064,659	—	3,865,906	966	3,866,873
その他の収益	—	—	350,276	350,276	—	350,276
外部顧客への売上高	2,801,247	1,064,659	350,276	4,216,183	966	4,217,149
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	2,700	2,700
計	2,801,247	1,064,659	350,276	4,216,183	3,666	4,219,849
セグメント利益	739,518	89,680	244,991	1,074,189	774	1,074,964

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、シェアードサービス事業等を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,074,189
「その他」の区分の利益	774
全社費用(注)	△752,910
四半期連結損益計算書の営業利益	322,054

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

当第3四半期連結累計期間(自 2025年7月1日 至 2026年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	マーケティング	海外人材	不動産	計		
財又はサービスの種類別						
WEBマーケティング	2,702,156	—	—	2,702,156	—	2,702,156
人材	—	681,665	—	681,665	—	681,665
教育	—	563,117	—	563,117	—	563,117
その他	—	—	—	—	902	902
顧客との契約から生じる収益	2,702,156	1,244,782	—	3,946,939	902	3,947,841
収益認識の時期別						
一時点で移転される財又はサービス	716,632	889,298	—	1,605,930	—	1,605,930
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	1,985,524	355,483	—	2,341,008	902	2,341,910
顧客との契約から生じる収益	2,702,156	1,244,782	—	3,946,939	902	3,947,841
その他の収益	—	—	350,588	350,588	—	350,588
外部顧客への売上高	2,702,156	1,244,782	350,588	4,297,528	902	4,298,430
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	2,700	2,700
計	2,702,156	1,244,782	350,588	4,297,528	3,602	4,301,130
セグメント利益	648,919	163,655	258,721	1,071,296	1,387	1,072,683

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、シェアードサービス事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,071,296
「その他」の区分の利益	1,387
全社費用(注)	△573,915
四半期連結損益計算書の営業利益	498,767

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自2024年7月1日 至2025年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2025年7月1日 至2026年3月31日)
減価償却費	125,865千円	62,522千円

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。